

アンタルダシャーの求め方

この表によれば、このAさんは、現在（2008年12月26日資料編集時）において、マハダシャー土星期にいたることが分かります。

1997年7月28日	土星
2016年7月28日	水星

土星期は1997年7月28日から始まり、次のマハダシャー水星期が始まる2016年7月28日まで続くため、2008年12月26日の現時点において、残りおよそ7年半ぐらいあります。

このマハダシャー土星期はさらに第2レベルのアンタルダシャーによって区分されますが、各支配星の年数の比によって土星期の19年間を分割することになります。

マハダシャー	アンタルダシャー	期間
土星 (19年間)	c	1997年7月28日～
	水星	未計算
	ケートゥ	未計算
	金星	未計算
	太陽	未計算
	月	未計算
	火星	未計算
	ラーフ	未計算
	木星	～2016年7月28日

この計算方法として、インド数学的な簡単なやり方があります。

これは理屈は分かりませんが、便利な計算方法といえます。

まず、マハダシャーとアンタルダシャーの支配星の年数どうしを掛け合わせます。

そして、出てきた数の1の位を切り離し、3を掛けます。・・・この3を掛けた1の位の数が日数(d)です。1の位を切り離した後の残りの数が、月(m)になります。従って、月が12以上だったら、年(y)に繰り上げます。以下が土星/土星期～土星/木星期までの各アンタルダシャーの期間です。

アンタルダシャー	算出方法
土星/土星	$19 \times 19 = 361$ 36m(1×3)d 3y3d
土星/水星	$19 \times 17 = 323$ 32m(3×3)d 2y8m9d
土星/ケートゥ	$19 \times 7 = 133$ 13m(3×3)d 1y1m9d
土星/金星	$19 \times 20 = 380$ 38m(0×3)d 3y2m
土星/太陽	$19 \times 6 = 114$ 11m(4×3)d 11m12d
土星/月	$19 \times 10 = 190$ 19m(0×3)d 1y7m

土星/火星	$19 \times 7 = 133$	13m(3×3)d	1y1m9d
土星/ラーフ	$19 \times 18 = 342$	34m(2×3)d	2y10m6d
土星/木星	$19 \times 16 = 304$	30m(4×3)d	2y6m12d

こうして算出したそれぞれのアンタルダシャーの期間を土星期の開始時期に足して、表の空いている部分を埋めていきます。

マハダシャー	アンタルダシャー	期間
土星 (19年間)	土星	1997年7月28日 ~ 2000年7月31日
	水星	2000年7月31日 ~ 2003年6月9日
	ケートゥ	2003年6月9日 ~ 2004年7月18日
	金星	2004年7月18日 ~ 2007年9月18日
	太陽	2007年9月18日 ~ 2008年8月30日
	月	2008年8月30日 ~ 2010年3月30日
	火星	2010年3月30日 ~ 2011年5月8日
	ラーフ	2011年5月8日 ~ 2014年3月14日
	木星	2014年3月14日 ~ 2016年9月26日 2016年7月28日と誤差が出ている模様

上記のように表を完成すると、2008年12月26日(編集時)現在、チャートの持ち主Aさんは、土星/月期にいたことが分かります。月はラグナからみても月から見ても土星からみても2室の支配星で1室で8室支配の土星と接合しており、対向から6室支配の火星にアスペクトされ、木星からのアスペクトは受けていません。2-9室のダナヨーガが見られますが、土星や火星、6室や8室との絡みが生じています。2室はマラカハウスであり、2室の支配星は家族とか両親などを表わします。従って、この時期は身近な家族と過す時期であり、また月の時期であるため、比較的温和に静かにしている時期ですが、健康や肉体の1室に在住しているため、体調がすぐれない時期かもしれません。あるいは家族に問題があったり、家族との関係がクローズアップされる時期ではないかと思われます。